

参加者感想

(1面から続く)



豪雨の中でしたが、職員、友の会から寄せられた千羽鶴を爆心地公園へ献鶴してきました

98歳の被爆者の方は「私は死ぬまで話したいと思っています」と語っておられ、その言葉に深い賞悟と使命感を感じました。生の声を聞けることは本当に貴重なことだと改めて思いました。

看護師 宮武あゆ美さん
今回の大会に参加し、分科会で私は被爆者の方々から直接お話を聞く機会がありました。

被爆体験は一樣ではなく、語られる一つひとつの声に重みがありました。核兵器がもたらす悲惨な現実を知ることには非常に大切であり、平和の尊さを改めて実感しました。

看護師 海老原良裕さん
核廃絶と平和の実現に向けて、自分にできる行動を探し実行していきたいと思っています。



代々木病院の代表参加者3名
左から海老原良裕さん、安藤耕平さん、宮武あゆ美さん

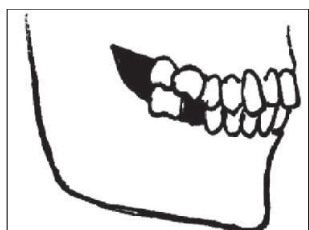
10代で被害を受けた事を語る中で、当時についての心情や状況について補足を加えながら話す実体験には強い思い、説得力があり私たちが過去の悲劇を風化させず、次の世代に伝えていく責任があると感じました。

原水禁運動は、無関心を打ち破り、私たち一人ひとりに「今できること」を問いかけています。

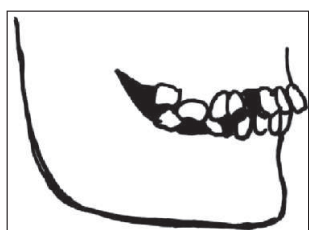
これを機に、私自身も平和について考え続ける姿勢を大切に、社会の一員として署名活動など責任ある行動をとり発信していきたいと思っています。

事務 安藤耕平さん
原水禁に参加してみても、内容が濃かったこと。講演や証言、分科会での話し合いなど、それぞれの場面が心に残り、充実した時間を

過ごすごうです。



抜歯直後



抜歯数年後

元々、人の身体は歯が全て無くなっても、上下の歯茎がかみ合うように作られています。そのため、歯を失うと歯や歯茎、頬の粘膜、舌、顎、筋肉など口を取り巻くもの

は、失った部分を補うための様々な変化をします。歯はなくなると、咬み合わせが深くなり、咬み合わせが深くなり、他の歯の当たりも強くなり、欠けたり折れたりグラグラしたりと変化することがあります。

そして、あちこちの歯移動をします。その結果、咬み合わせが深くなり、他の歯の当たりも強くなり、欠けたり折れたりグラグラしたりと変化することがあります。

「入れ歯を作ったけど合わないし、困らないから使っていない」。こんな声をよく耳にします。

歯科医師は、その時点で入れ歯がないと困るから作っているだけではありません。

は、失った部分を補うための様々な変化をします。歯はなくなると、咬み合わせが深くなり、咬み合わせが深くなり、他の歯の当たりも強くなり、欠けたり折れたりグラグラしたりと変化することがあります。



その134 歯科医師 妹尾ゆかり

歯が無くなったらどうする？その2

民医連

代々木歯科コーナー

連載

核兵器のない世界を ～千駄ヶ谷駅でアピール



「核兵器のない世界を」を訴える

8月6日、千駄ヶ谷駅前で「核兵器のない世界を」のアピール行動を行いました。職員、友の会あわせて11人が参加しました。

猛暑の中、「今日は広島で80年前に原爆が投下され、想像を絶する被害がもたらされた」「広島を忘れるな」「核兵器をなくそう」「日本政府は核禁止条約に参加を」とハンドマイク、プラスターでアピールしました。署名もたくさん集まりました。

夏の疲れが残る中、昼食を簡単な麺類で済ませたり、ペットボトル飲料で空腹をしのいだりしていませんか。実は、こうした食生活が、健康を損なう原因となっています。

特に、清涼飲料水の過剰摂取は、健康を損なう原因となっています。

オナールを効果よく補給する。

サプリメントに頼らない生活



薬剤師 藤竿伊知郎 (元外苑企画商事)

夏の疲れが残る中、昼食を簡単な麺類で済ませたり、ペットボトル飲料で空腹をしのいだりしていませんか。実は、こうした食生活が、健康を損なう原因となっています。

特に、清涼飲料水の過剰摂取は、健康を損なう原因となっています。

摂取は大きなリスク要因です。

2017年、日本小児科学会は、乳幼児の「イオン飲料」の過剰摂取による重症例を報告しました。

(122)

清涼飲料水が招く栄養障害



るためのものです。乳幼児向けの名称ですが、その組成はスポーツ飲料とほぼ同じです。多くは100mlあたり5gほどの糖類を含んでおり、スポーツ飲料とかわりません。

ビタミンB1は、糖質をエネルギーに変えるために不可欠な栄養素です。清涼飲料水などで糖質を過剰に摂取すると、体内のビタミンB1が大量に消費されます。特に、脳や神経は糖質を主要なエネルギー源とするため、ビタミンB1が枯渇すると神経障害を引き起こすことがあります。